



『共創』



校訓：躍動・責任・勤勉

学校教育目標：自他を認め、高め合い、『共創』する生徒の育成

令和8年9月14日

校長 西山 敏明

熱い夏を超えて、さらなるバージョンアップの2学期へ

「酷暑」という言葉がまさにぴったりの夏休みを終え、2学期を迎えました。夏休み、生徒たちは、連日続く厳しい暑さの中でも、それぞれの場所で素晴らしい輝きを見せてくれました。

私は、夏休みに入り、まずは美術部の「4校合同美術展」を鑑賞しました。一筆一筆に思いが込められた力作の数々にとても感心しました。また、7月25日の吹奏楽部「県吹奏楽コンクール」、そして8月23日に開催された「第38回西諫早中学校吹奏楽部定期演奏会」に足を運びました。ホールいっぱいに響きわたる素晴らしい演奏は、聴く者の心を温かく満ち、誠に豊かな気持ちにさせてくれました。

運動部に目を向けると、前号でも紹介しましたが、7月末の県中総体、そして8月上旬の九州中総体（陸上、水泳、剣道、卓球）と、県代表として立派にその役目を果たしました。中でも、剣道部の福田さんは8月末、山口県で開催された全国中学校体育大会（剣道競技個人戦）に出場しました。結果は惜しくも1回戦敗退となりましたが、長崎県、そして九州地区の代表として全国の舞台に立ったことは、今後の人生にとってもかけがえのない素晴らしい経験となったはずです。

また、学校の部活動だけでなく、地域行事やクラブチームで活躍した生徒、特定の習い事でも自分の目標に向かってたゆまぬ努力を続けた生徒など、一人ひとりにそれぞれの挑戦があった夏休みだったと思います。

さて、夏から秋へと季節が移り変わると同時に、多くの部活動において3年生が引退を迎え、1・2年生への引き継ぎが着々と進んでいます。これまで学校の顔として活躍してくれた3年生はいよいよ部活動から気持ちを切り替え、自らの卒業後の進路選択に向けて本格的に動き出す大切な時期となります。一方、新たな中心となる1・2年生は、3年生が築いてきた西中の良き伝統と取組をしっかり受け継ぎ、さらにバージョンアップさせていってほしいと期待しています。一人ひとりが夏休みに得た成長と経験を自信に変え、学校全体で力を合わせながら、実り多き素晴らしい2学期にしていきたいと思います。



自他の「夢」を尊重し、互いの「声・心」を重ね合う2学期に

8月末の3日間、3年生は自らの「夢・憧れ・志」についての作文発表を各学級で行いました。夢を語れる、仲間の夢を真剣に聴くことができる学級は本当に素敵だと思います。

これを基に、9月1日の始業式の校長講話では、全校生徒に対し、この「夢・憧れ・志」について、大切にしてほしい2つのことを話しました。

①「自分の夢を臆せず語ることができる」…そのような一人一人に

（どんな小さな興味や憧れも、自分の言葉にすることで、実現への一歩が始まります。）

②「友の夢を真剣に聴き、応援することができる」…そのような学級、学年に

（まっすぐに受け止め合えるあたたかい関係が、さらに大きな夢を育みます。）

自分の思いを素直に表現できる。そして、互いに受け止め合えるあたたかい学級、学年、学校でありたい。10月の合唱コンクールも、誰もが思いきり声を出せる安心な空気の中で、一人ひとりの声を大切に重ね合い、心をつなげて共に成長する2学期にしていきたいです。

生徒たちが考える、2学期の学級、学年、学校づくりに向けて

2学期始業式では、各学年と生徒会代表が、今のそれぞれの実態を基によりよい姿を目指して発表を行いました。生徒目線で今をしっかりと見つめ、それぞれの良さを伸ばしながら課題を乗り越えようとする姿に、これからの成長への期待が大きく膨らみます。

1年生代表

【学習環境づくり】：周囲を思いやり、全員が集中して授業に臨める環境をつくる。

【意欲的な学びと行事】：課題を意識し、合唱コンクール等の行事を通して意欲的に学ぶ。

【規則正しい生活】：規則正しい生活で、健康で明るい雰囲気のカラスを目指す。

2年生代表

【時間意識と責任ある行動】：マナーや行動の課題を克服し、時間にルーズにならない行動をとる。

【絆と高め合い】：長所を認め合い、お互いに注意し合える強い絆で団結する。

【行事への積極参加】：職場体験や行事に積極的に取り組み、充実した学校生活で成長する。

3年生代表

【受験生としての自覚】：自覚を持ち、1年からの復習の徹底と受験勉強への姿勢を正す。

【部活と勉強の両立】：限られた時間を有効に使い、双方に全力を尽くす。

【礼儀と信頼の獲得】：礼儀や態度を見直し、周囲から信頼される充実した期間にする。

生徒会代表

【授業中の集中と規律】：自分で考え、着席や黙想を守り、授業中の私語をなくす。

【ルールとマナーの遵守】：自転車通学などのルールを守り、学校内外で時間を意識して行動する。

【仲間・学校づくり】：「言動が雰囲気をつくる」という意識を持ち、支え合える本物の仲間と素敵な学校を共に創る。

夏休み期間中、県内において、中高生の「セクストーション被害」が頻発！

諫早警察署の生活安全ニュース（9月号）で注意喚起がありました。

セクストーションとは「Sex（性的）」と「Extortion（ゆすり・脅迫）」を組み合わせた造語で、「**性的脅迫**」を意味します。 **被害者は、男性が女性よりも多い！**

セクストーション（性的脅迫）だまされる手順

SNSなどで知り合った相手から、性的な写真や動画を送らせ、その画像を使って「ばらまく」などと脅され、**金銭を要求される被害**が増えています。



1. 被害にあわないために

- ・ネットで知り合った人とはやり取りをしない。
- ・自分のプライベートゾーンを撮影しない。
- ・SNSへのアップやメッセージで安易に画像を送らない。
- ・相手に求められても、怪しいアプリは決してインストールしない。

2. もし、万が一被害にあってしまったら

- ・決して一人で抱え込まず、すぐに保護者や学校、警察に相談する。
- ・相手とのやり取りをスクリーンショットに保存し、証拠として残す。

保護者の皆様へのお願い

親子でSNSや闇バイト、セクストーション等の危険性を話し合い、ペアレンタルコントロール機能でアプリ利用を見守りましょう。

何でも話せる関係を築いて異変にいち早く気づき、ご家庭と学校が連携して子どもたちの情報安全を守りましょう。